

やまのめ

一関市立山目小学校 校報 No.4

2022. 5. 13 文責:校長 菊池

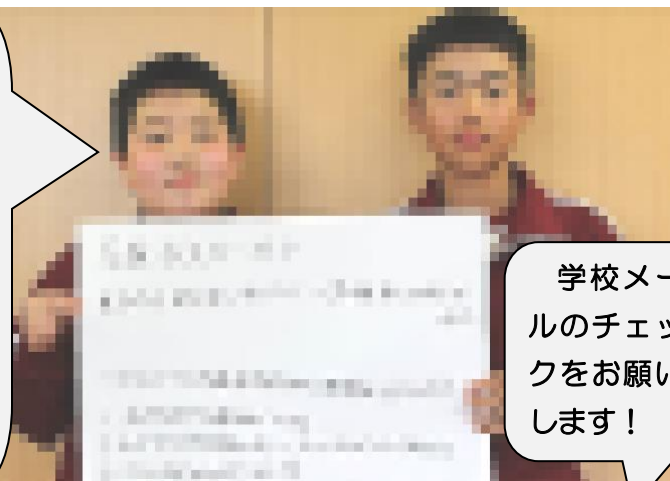
自分から助け合い チャレンジ 一生懸命 かがやけ山小

～ 運動会 児童会スローガン ～

運動会に向けた取組が始まりました。児童会スローガン達成に向け、3つのがんばることも決めました。

- 1 あきらめずに最後までやりきる
- 2 わからないところを教え合い、困っている人を助ける
- 3 普段の生活からきちんとする

ほくたちは紅白リーダーです。運動会では、山目の子みんなで輝きましょう！



学校メールのチェックをお願いします！

運動会 実施・延期のメールをお見逃しなく！

天候による実施・延期の連絡は、学校メール（安心でんしょばと）でお知らせします。日頃からのメールチェックをお願いします



山目の子 明るい声をひびかせる！

◆ 校長日記 ◆

がんばりを応援する運動会に

運動会前、お伝えしている文章です。ある学校での6年生と校長の手紙のやりとりです。

ぼくは運動会が苦手です

6年1組 ○○○○○

ぼくは2、3年生のころ、友だちに泣かされたり、ぼうしを取られたりした。そんなとき、本だなのすみに入り、じっとひとりでしんぼうしていた。学校中をにげ回ったこともある。いじめていた人は、ぼくが弱いからおもしろがってやっていた。

ぼくは運動会が苦手だ。50メートル走のとき、にやにやしながらかけ足をした。今から考えると一生懸命走ればよかったと思う。6年生のとき、先生が「ビリでも一生懸命走れ。」と言われたので、一生懸命走った。今ではいじめられたりしない。

ぼくは「横着（おうちゃく）」という悪いくせがある。先生の言うとおり、なんとか早くなおしたい。

○○君の手紙に対し、東井校長は右のような返事を書かれています。

たとえ1位でなくても、ビリであっても、力を出し切ろうとする子、あきらめずにがんばる子どもたちに大きな拍手がわきあがる運動会にしたいと思います。



堂々とビリを走りなさい

校長 東井義雄

ビリであることは、ちっともはずかしいことではない。なまけることのほうが、よっぽどはずかしいことだ。走ることに限らず、生きていく間には、いろいろなことでビリを走らなければならないことがあります。

しかしそのとき、どうか日本一立派なビリであることができるよう、こころがけてほしいと思います。堂々としたビリであってほしいと思います。これは、なかなか難しいことです。ビリになると、どうしてもひくつになり、はずかしくなり、ころまで貧乏になりやすいからです。ですが、ビリの味のわかる人間でなければ、困っている人、弱い人、貧しい人の気持ちなんか、絶対にわかるものではありません。とにかく、ビリになっているときは、その人にとって得がたい勉強の機会をあたえられているときだと思います。

お金はいちばんたくさん持っている。体はいちばん逞者。勉強もいちばんできる。姿、形もいちばん美しい。何ごとにつけてもビリなんかとったことがない。そういう人が、もしあったら、それはたいへん不幸な人だと思います。ビリの味のわからない人は、人生の味を知らないのと同じだと言ってもいいでしょう。

とにかく、○○君の「走ることがおそい」というなぐちを、○○君のすべてのすぐれたところにも活かしてほしいと思います。一番も、二番も、三番も、ビリのおかげで一番や二番や三番になれているのです。

とにかく、堂々とビリを走ることができるようになりましょう。

東井義雄「こころ」の教え 東井義雄 著

佼成出版社 平成13年